



大会出場者コメント

● 今回のプレゼンテーションのテーマである「世界のどこでも生き抜く力」について、私には何を発表したらいいのか思いつかず、何週間も悩んだ。そんな時思いついたのが足元を見つめるということだ。近い将来他国のの人々とコミュニケーションを取るときに何が必要なのか考えて“Knowing Japan to Live Abroad”というサブテーマを設定した。発表原稿とスライドはできたものの、聞く人に対して説得力のある発表にするためには練習が不十分で本番直前まで不安が残った。しかし、自分の意見をしっかり伝えたいという意思を持って臨んだため、発表中は緊張することもなく、思い通りの成果を出すことができた。(宮崎卓音さん)

● この様な大会に参加するのは初めての経験だった。準備にも練習にも多くの時間を割く必要があったが、参加することに意義があると思い、努力した。

初出場の高校から、1年生で、1人で、1番目に発表した経験は、少なからず私の糧になったであろう。結果に関しては、準備の段階から周囲のレベルの高さを感じていたこともあり、妥当だという思いもあったが、やはり悔しさを感じざるを得ない。しかしこれは、今大会に出たことでさらなる自分の伸び代を知れたとも取れる。今大会での体験を忘れず、又いつか再挑戦する日を夢見て、より精進したと思った。

(尾崎榛名さん)

● 今回このようなプレゼンテーション大会に参加させて頂くのは初めてでしたが、良い経験となりました。まず他校の同年代の方々のレベルの高さに驚きました。プレゼンのスキルはもちろん、受け答えもしっかりしていて、私も普段の英語や英会話に対する意欲が増しました。

また、レベルの高い英語を間近で聞くことができ、とてもよかったです。さらに法政大学教員による講義も、短いながらも大切な事がたくさん詰まっていた、今後の生き方を考える1つのヒントとなりました。また機会があればもう1段階成長した自分として、このプレゼンテーション大会に参加したいと思います。(中尾美葉さん)

● The English presentation contest that we joined for the first time was attractive and enjoyable for all teams and I was able to have a very good time. In order to communicate your experience to your opponent it is important to speak while making eye contact with a lively look. I think that knowledge gained by my own experience can be conveyed with confidence and you will be interested in the other person. I think that tolerability and curiosity will be the ability to live anywhere in the world. Therefore, I would like to do my best to acquire language skills that can convey my will. From now on, I want to have the power of action and challenge various things. (柏原日菜さん)

● 初めてこのスピーチコンテストに参加して、とても緊張しました。他校の発表が凄すぎて感動しました。いつか私も人前で緊張せず、発表できるようになりたいです。(天野愛子さん)